

【7】主催者あいさつ

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会会長
福田 富一
栃木県知事

第2回「山の日」記念全国大会記念式典を開催いたしましたところ、中川環境大臣を始め、多くの御来賓の皆様方を県内外からお迎えして、こうして盛大に開催できますことを心から御礼申し上げます。

山の日制定は日本を代表する作曲家であり、栃木県の名誉県民でもあります故船村徹先生の御提唱を始め、本日お集まりいただきました、山岳関係や衛藤会長を始めとする議員連盟の皆様方大変多くの関係者の御尽力の賜であると深く感謝を申し上げます。

第2回「山の日」記念全国大会が、ここ那須町において開催されますことは、様々な山を有する栃木県、並びに、山をふるさとと感じる多くの県民にとりまして、大変栄誉なことでございます。

一方、今年3月地元那須岳におきまして、高校生7名、引率教諭1名、8名の前途有望な青年の命を失ってしまうという大変痛ましい雪崩事故が起きました。まもなくお盆がやって参ります、あらためて御冥福をお祈りいたしますとともに、二度とこのような事故が起きないように、栃木県を挙げて最大限取り組んで参りますことの御約束を申し上げます。

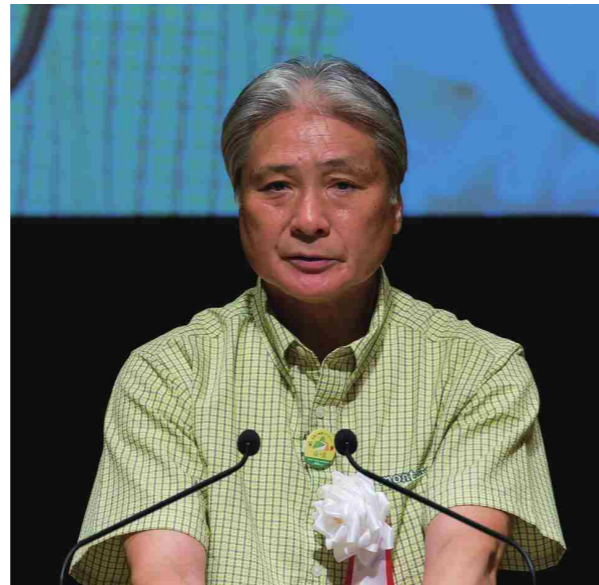
本大会は山の日意義であります、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝することを念頭に置きながら、大会の目標に山の事故や自然災害への対応を加えて、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝える大会となるよう準備を進めて参りました。

この大会が未来に向かい、人と自然がつながり、山と共に生きていくことについて、深く考えるきっかけとなりますことを心から願うものであります。

栃木の山々は、本格的な登山だけではなく、自然体験や健康づくりなど、多様な活動の場として多くの方々に親しまれております。

県内外からお集まりの皆様方には、栃木の山の美しい自然や豊かな食の恵み、魅力ある温泉などを五感で満喫していただくとともに、この全国大会を機に、魅力あふれる栃木を存分に実感し、体験していただきますよう、よろしく願いをいたします。

結びに、御参集の皆様御多幸と益々の御発展を心からお祈りを申し上げまして、主催者のあいさつといたします。



【8】歓迎あいさつ

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会副会長
高久 勝
那須町長

昨年施行された16番目の国民の祝日である山の日を記念し、第2回目の全国大会を那須町で開催できることは、身に余る光栄であり、無上の喜びであります。福田知事や超党派山の日議員連盟の衛藤衆議院議員を始めとする多くの関係者及び関係機関の皆様方のご尽力の賜と感謝申し上げます。

そして、中川環境大臣、沖林野庁長官を始め、多数の御来賓の御臨席を賜り、大会に花を添えていただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

ご存じのとおり、那須町は日光国立公園の一部であり、一年を通じて四季折々の風景を楽しむことが出来る風光明媚な地ですが、当町の象徴である那須連山にはロープウェイの利用客を含め年間40万人の方々が登山を楽しまれています。

そして、那須には豊富な温泉と多様なレジャー施設等があることから、全国から年間500万人近い観光客が訪れる関東有数の観光地となっています。

また、毎年、天皇皇后両陛下を始め皇室の方々が御静養にお越しになられますが、那須御用邸の一部は環境省へ移管後、平成23年に「那須平成の森」として開園し、多くの方々がこの素晴らしい自然を楽しまれています。

こうした緑豊かで由緒ある那須の地に全国から多くの方々をお招きし、山の日記念全国大会を開催できますことは、大変意義深いものと考えています。

大会理念にもございまして、山は畏敬を持って接し、尊ばなければならない存在であるとともに、我々に多くの恵みを与えてくれる源です。

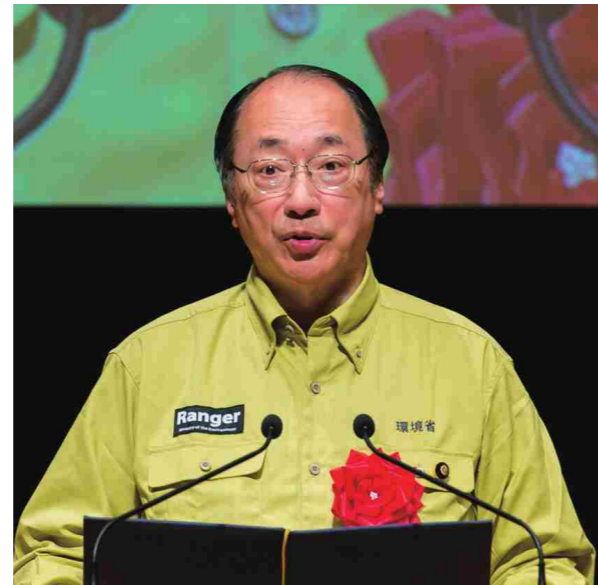
この恵みの多い山を後世に引き継ぐことは我々に課された大きな責務であり、この大会がこの責務を具現化するための大きなきっかけとなりますことを切望しています。

結びに、大会開催に当たり、ご尽力賜りました関係者の皆様方に、地元町長として心から感謝申し上げますとともに、この大会が意義深いものとなりますよう、心から御祈念申し上げ、歓迎の御挨拶とさせていただきます。



【9】来賓あいさつ

環境大臣
中川 雅治



はじめに、第2回「山の日」記念全国大会 in 那須を主催される実行委員会の皆様、また、地元の栃木県、開催地の那須町の関係の皆様方がこれまでの準備や様々な活動に取り組んでこられたことに対し、この場をお借りして心からの敬意を表したいと思います。

8月11日が16番目の国民の祝日「山の日」となって2年目となる本日、この式典に環境大臣として参加できたこと、そして、関係の皆様方、また、日本のすべての国民とともにお祝いできることは、大変光栄であり、私の喜びの限りであります。

私たち日本国民の日々を彩る、季節感にあふれた風習や、自然の恵み豊かな日々の暮らし、命のつながり、そして郷愁の念、そのすべてのよりどころとなる国土、我が国はその国土の7割が緑豊かな山からなる山の国であります。

日本人は、古くから山に畏敬の念を抱き、山の恵みに感謝し、自然とともに生きてきました。こうした山への思いは、次代を担う子供たちに着実に引き継いでいかなければなりません。

環境省では、こうした日本の素晴らしい自然を、国内はもとより海外の方にも知っていただき、世界中からのあこがれの地となることを目指して、国立公園満喫プロジェクトを進めております。

ここ那須でも、山を初めとする自然の魅力を様々な方に伝え、触れていただけるよう、地域の方々とともに、日光国立公園における国立公園満喫プロジェクトを展開しているところです。

その那須における全国大会が開催される今日という日が、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日として、あらためて、すべての国民が山に思いを寄せるきっかけとなることを願ってやみません。

最後になりましたが、栃木県並びに那須町の今後益々の御発展をお祈りするとともに、那須連山に抱かれるこの地において、御列席の皆様とともに、山への思いを共有できることに感謝し、私からの御祝いの言葉にさせていただきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございます。

【10】メインアトラクション

女優の小林綾子さんが進行役を務めて3章構成の演出で「とちぎの山」の魅力を伝えました。

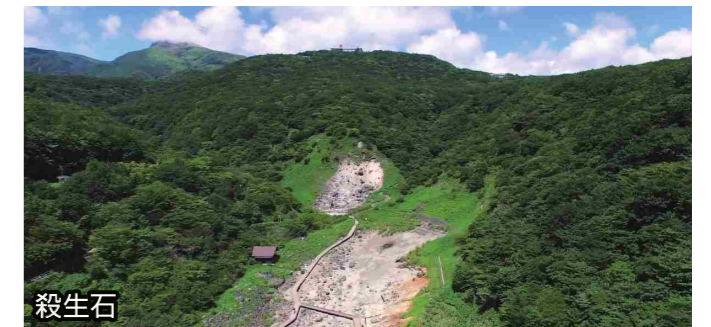


第1章 映像「オオルリの飛翔」

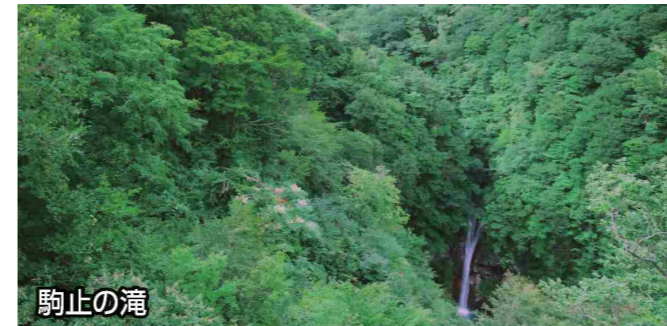
栃木県の県鳥「オオルリ」の目を通して、那須の山々や名所を映像で紹介しました。



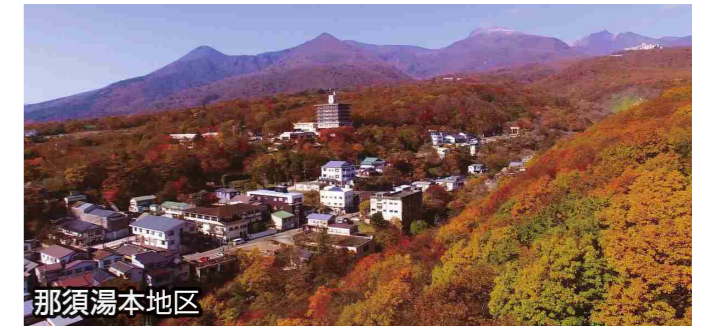
那須連山



殺生石



駒止の滝



那須湯本地区



つつじ吊り橋



那須の雪景色



芦野地区



八幡つつじ群落

【11】演技

第2章 演技～父と娘の山登り～

山登りを楽しむ父と娘が、山々が与えてくれる豊かな自然に触れ、五感で山の魅力を感じ取っていく様子を演出しました。

[出演者] 父親役:吉家 章人さん 娘役:杉浦 樹子さん



第3章 山への感謝のメッセージ



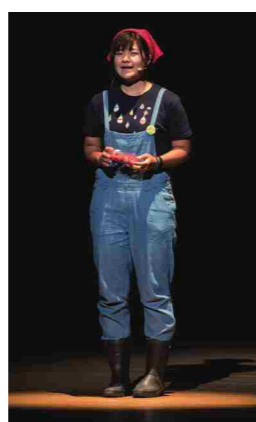
旅館ニューおおたか 女将
おおたか たか こ
大高 貴子さん

山は、大切な私のパートナーでございます。これからも、山と一緒に、心地よい安らぎと、最上の癒しを、お届けしてまいります。栃木の温泉は日本一。心づくしの“もてなし”で、皆様のお越しをお待ちしております。



県農業士、那須町農業委員長
今牧場
いま こういち
今 耕一さん

山は、大切な私の仲間。これからも、お互い助け合っていきます。山の恵みを受けて育った栃木の牛は、日本一です。栄養たっぷり、栃木の牛乳を是非一度、飲んでみてください。絶対ご満足いただける自信があります。



那須地方夏秋どりいちご生産協議会員
百姓はたけやま
はたけやま なな こ
畠山 奈々子さん

山は、大切な私の家族。これからも、仲良く、一緒に暮らしていきます。いちごの「赤」は、私たちの愛情、そして、私たちの想いです。私たちが心を込めて、大事に大事に育てたいちごを、是非、味わってください。最高です、栃木のいちご。



那須ブラーゼン代表
わかすぎ あつひと
若杉 厚仁さん

山は、大切な私の相棒。これからも、山を楽しみ、山をリスペクトしていきます。風を切って、山の斜面を颯爽と駆け抜けるサイクリングは、自然と一体となれる、最高のスポーツです。栃木の山は、初心者から上級者まで、どんな方でも楽しめます。どうですか？ 私たちと一緒に、栃木の山を駆け抜けませんか？

【12】フィナーレ

合唱「山はふるさと」

歌手の加藤登紀子さんと那須野が原青少年少女合唱団の皆さんで「山はふるさと」を合唱しました。



この「山はふるさと」は、作曲家 船村徹 先生が、山の日制定を記念してプロデュースした「山の日」の歌の一曲です。

船村先生は栃木県塩谷町出身の名誉県民で、「山の日」の制定と普及に尽力され、昨年、文化勲章を受章されました。

しかし、残念ながら平成29年2月に御逝去されました。

ここに、心から御冥福をお祈り申し上げます。

山はふるさと

総合プロデューズ・船村徹
裏・加藤登紀子 歌詞・吉井省一 曲・都倉俊一

山はわたしに教えてくれる
森の緑のやさしさを
山はみんなに話してくれる
強く生きてく喜びを
街の暮らしを遠く見て
きらめく風の子になろう
夢のつぼみを咲かせた花に
微笑みかけて 歩こうよ

山はふるさと 山は父

「よく来た」の声 こだまする

誰がつくったものでもないし
誰のものでもないけれど
山はみんなをつつんでくれる
愛も涙もその胸で
時代(とき)の流れにはぐれたら
かがやく星の子になろう
天空(そら)が奏でる星座の歌に
明日(あす)へのちから もらおうよ

山はふるさと 山は母

「おかえり」の声 呼んでいる

山はふるさと 山は父
「よく来た」の声 こだまする

【12】フィナーレ



【13】リレーセレモニー

次期開催地の鳥取県に「山の日」のシンボルである「山の日帽」を引き継ぎました。



「山の日帽」に、今大会のロゴマークをデザインしたバッジを取り付け、次期開催地の鳥取県に引き継ぎました。

登壇者

(写真左から)

高久 勝 那須町長 福田 富一 栃木県知事
平井 伸治 鳥取県知事 伊木 隆司 米子市長 竹口 宏典 大山町長

【13】リレーセレモニー

リレーセレモニー 次回開催地あいさつ

本日は、第2回山の日記念全国大会、本当に御盛会おめでとうございます。ただいま、山の日帽を引き継ぎさせていただきましたが、福田知事、高久町長、小林県議会議長をはじめ、地元の皆様の大変熱い思いが伝わってきました。

また、お忙しい中お越しいただきました、中川環境大臣、衛藤議連会長をはじめとする国会議員の皆様方、松沢副会長や磯野理事長をはじめ全国山の日協議会の皆様方、関係の政府機関の皆様方など、本当に多くの皆様方のお力をいただき、素晴らしい大会となりましたこと、お祝い申し上げます。

栃木の皆さん、那須の皆さんの山に対する素晴らしい思いが伝わってまいりました。驚きましたのは、高久那須町長のお名前です。「たかくまさる」、「鷹、熊、猿」で山の生き物がみんな入っている。本当に驚きました。

鳥取は、スターバックがないと言われますけれども、山を愛する皆様のスターバックパッカーズはたくさんいらっしゃいます。砂丘をはじめ、地震により登山道が閉ざされた後、全国の皆様のお陰で復活した三徳山という山、その他にも見どころが一杯ありますので、ぜひお越しをいただきたいと思います。

そして、来年は、「神坐す山」といわれる信仰の山「大山」でお迎えしたいと思います。

大山は明治時代に登山が解禁されて以来、多くの登山客が来るようになり、山頂が荒れましたが、昭和60年から地元の皆さんにより一木一石運動という山を愛する運動が始まり、キャリアダウンボランティアという汚泥を持って降りるボランティアの方々の取り組みなど、みんなで守り育てた山でございます。そして、モンベル社がSEA TO SUMMITやジャパンエコトラックという新しい事業を私たちとの協同により大山で始めるなど、私たちは多くのアクティビティをこれからも育ててまいります。

来年、大山は開山1300年祭を迎えることとなりました。ちょうど今日から大献灯というお盆の行事も始まったところです。今の時期は、ちょうど栃木ゆかりのシモツケソウが山頂のお花畑で咲いています。

大山では、日が暮れますと素晴らしい夜空が広がり、天の川を全ての市町村から見ることは鳥取県の自慢です。

「大山を果たてに望む窓近く 体かはしつづいはつばめ飛ぶ」

今上天皇が大山を訪れたときに、目の前を飛ぶイワツバメを見まして、これを歌に詠まれました。山とともに、人と自然がつながる、そんな栃木の思いを大山でも果たしてまいりたいと思います。是非来年は大山へきてごしないませ。



平井 伸治 鳥取県知事

【14】エピローグ

山の日コンサート

「とちぎ未来大使」をつとめてくださっている、歌手の加藤登紀子さんによる「山の日コンサート」を行いました。コンサートでは「百万本のバラ」「いちごの唄」「愛の賛歌」「富士山だ」の4曲を披露していただきました。



いちごの唄

その小さな赤い実に
どんな願いたくしてるの
たとえ遠く離れても
きつと幸せ祈る
あなたの夢は私の夢
いつもここから見てる
いちごの唄は愛のうた
あなたにそつと届きたい

秋の空が広がる頃
咲いた白いいちごの花
遠いあの日の君のよう
おとめごころが揺れる
幼いままの花の胸に
突然愛が降ります
風にくちづけするように
白い花びら空に舞う



同じ空を見てる
粉雪の舞う冬の空を
恋の季節のあとに
突った赤い実が

魔法のようないちご畑
並んだ赤いとちおとめ
ひとつひとつ手のひらに
いとしその実を抱いて
あなたの夢は私の夢
ここから遠く旅立つ
いちごの唄は愛のうた
あなたにきつと届きたい

いちごの唄は 愛のうた
あなたにそつと届きたい

作詞 加藤登紀子
編曲 鬼武みゆき
作曲 R e n

【15】子どもたちからのメッセージ

那須町内小中学生、県内ボーイスカウト・ガールスカウトの皆さん



「山の日」メッセージ

山は、命の源となる水を生み、森林や田畑を潤し、海を育てます。
そして、新鮮な空気を作り、また、雨となって山に戻り、自然のサイクルの元となっています。
山に親しみ、山の恵みに感謝する「山の日」は、世界でも珍しい祝日です。
そして今日、2回目の祝日を迎えました。
山を縁に、こんなにも多くの人たちが集まり、とちぎの山を楽しんで、一緒に山について考えることが出来ました。
ここで、栃木の山と共に生きる私たちから、山と共に生きる、未来へのメッセージを伝えます。
私たちにとって、山や自然は、身近な存在。
山登りはつらいときも多いけど、頂上に登ったときの気分は最高。
家族や友達と一緒にハイキング、キャンプや川遊び、思い切り体を動かすことが好き。
色々な虫、動物を見つけることが好き。
きれいな花を見ることも好き。
これからも山や自然の中でいっぱい遊びたい。
山は、大好きな、みんなの友達。
でも、山は時々、私たちに、とっても怖い姿を見せます。
山や自然を楽しむためには、事故に遭わないことが大切。
そのためにも、自然との付き合い方を学び、しっかりと山や自然に向き合っていきます。
また、おいしい水や食べ物など、私たちの生活に恵みをもたらす山や自然を守ることも大切です。
今日の「山の日」をきっかけとして、大切な山や自然を、これからも未来へ引き継ぐため、
私たちが普段の生活の中でも考え行動していきます。
そして今日、ここに宣言します。
僕たちは、私たちは、これからも、「山と共に生きる」ことを誓います。

【16】山鐘「11点鐘」

開会時の8点鐘に以下の3回を加え、11点鐘を行い式典を締めくくりました。

第9山鐘 来年の大会の成功への思い

第10山鐘 大会に参加された全ての方の幸せへの思い

第11山鐘 明るく豊かな山の未来を子供たちに託す思い

[点鐘者] 山田 正美 (那須町副町長)、渡辺 小桜 (黒田原小学校6年)



閉会の言葉

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会副会長

小林 幹夫 栃木県議会議員

今日は、皆様に本当に遠いところから、全国各地からお越しいただきまして、このように素晴らしい記念式典が開催されましたこと、心から厚く御礼申し上げます。

昨年の8月8日に第2回山の日記念大会が当県で開催されることが決定をいたしました。その日から、福田富一知事を先頭に今日の日まで皆様のために一生懸命準備をまいりました。

そして今日は、中川環境大臣、そして沖林野庁長官、そして衛藤山の日議員連盟の会長ほか多くの先生方にも御列席をいただき、とても素晴らしい記念大会ができましたことを心から感謝を申し上げたいと思います。

皆様ご存じのように、栃木県という名前、皆様気づいてないかもしれませんが、全国47都道府県のなかで「木」という字を使ったのは栃木県だけです。

栃木県は「木」を使うのです。栃木県の県民は非常に「気」を使うのです。おもてなしをするのです。

日本一のおもてなしをするために、栃木県はおもてなし条例を制定いたしました。どうかこれを契機に、是非栃木県に来ていただいて、先ほど映像がありましたように、そして発表がありましたように、栃木県には大変素晴らしい自然、そして大変素晴らしい食の恵みがございます。いちご生産量日本一は約半世紀続いております。そして乳牛、ミルクの生産高も全国第2位と、本当においしいものがたくさんあります。是非栃木県にまたいらしていただいて、五感でこの栃木県を体験していただきたいと思います。

そして、先ほど衛藤会長から宿題をいただきました、これを契機に栃木県議会も山の中で臨時議会を開きなさいとのことでございます。

今日は若林副議長を初め、多くの県議会議員が出席をさせていただいておりますので、是非宿題とさせていただきます、山に関する様々な問題について、これからはしっかりと勉強してまいりたいと思います。

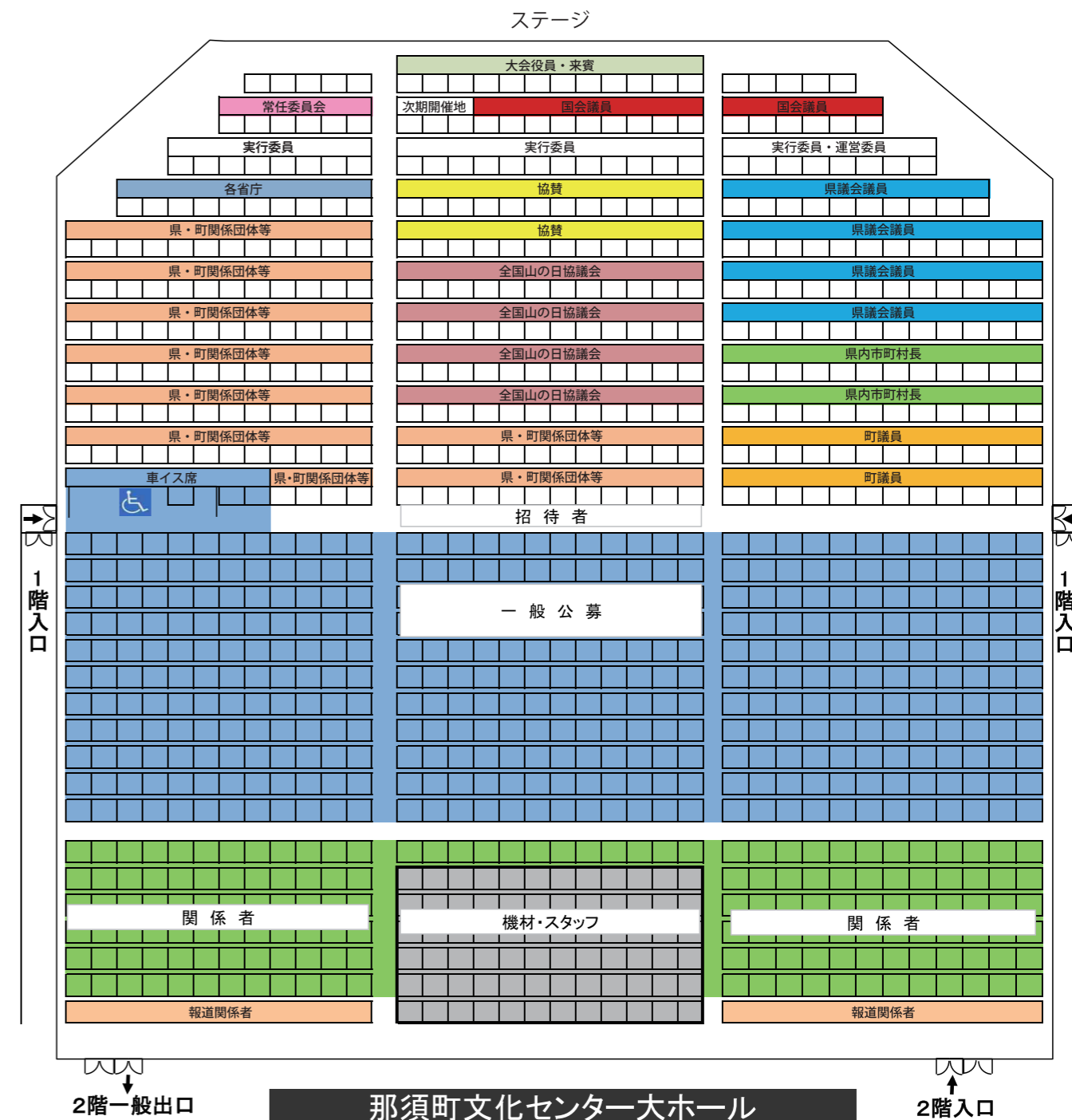
そして、先ほど鳥取県の平井知事から素晴らしい御挨拶がありました。知事の挨拶をきっかけに、第3回山の日記念全国大会もきっと盛大な山の日になることでしょう。

今年は栃木県、来年は鳥取県ということで、どうぞ御来場の皆様よろしくお願いをしたいと思います。

本日は誠にありがとうございました



【17】座席表



3.シンポジウム（8月11日）

山と溪谷社の萩原浩司さんをコーディネーターとして、4名のパネリストの皆様から体験談を通じて山との関わり方を考えていただきました。

■開催日時 平成29年8月11日（木）午前11:10から午後12:15分まで

■テーマ 「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」

■基本的な考え方

山は登山という側面だけではなく、自然体験や健康づくりの場として親しまれていることや、清れつな水や新鮮な空気、さらには実り豊かな農作物を育むなど多くの恩恵をもたらしているという視点で掘り下げて考えることで、改めて山の恵みに感謝し、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるとともに「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」をテーマとしてディスカッションします。



「那須連山での変化に富んだ登山体験」

山岳ライター 小林 千穂

私は年に約120日ほど、全国の色々な山に出かけています。那須は四季を通じて来たことがあり、昨日は茶臼岳と朝日岳に登って来ました。

数年前は峰の茶屋から茶臼岳に登って、山頂を周って姥ヶ平に行き、また峰の茶屋に戻るコースを歩いたのですが、私はこれが那須岳の色々な表情を楽しめるゴールデンコースだと思います。

峰の茶屋に来ると那須の山もアルプス的な雰囲気を持っている所だと思います。茶臼岳の登りの時は後ろにずっとひらけた景色が広がっていて、那須の山は開放感があって気持ちいいなと思います。

茶臼岳の無限地獄は勢いよく噴煙が上がる噴気孔があり、地球のエネルギーを感じられます。すごい迫力で地球が今も活動していることを感じられる場所です。

姥ヶ平は白い砂地が広がっていてその前にベンチが数台置かれていて、すごく平和な雰囲気がする場所で、那須で一番好きな場所です。

三本槍は、荒々しい印象の茶臼岳と異なり、豊かな森があり水辺の紅葉がすごくきれいでした。

冬山の風といえば富士山か那須かというほどすごい突風が吹くので、アイゼンとピッケルを使って登るのですが、夏とは雰囲気が異なる冬山登山を楽しみました。

朝日岳の東南稜は岩と雪のミックスのクライミングを楽しめる所として全国から多くのクライマーが訪れる場所です。

那須はロープウェイもあり観光の方も楽しめ、また、初心者の方から山のベテランそしてクライミングする人たちにも楽しめるという多角的な楽しみ方が出来る山だと思います。

また、私が好きな温泉の北温泉や鹿の湯などの温泉もあるので山の帰りに疲れをちょっと癒したりとか、麓にはお洒落なカフェとかレストランもあってリゾート地として魅力のあるところとして、本当に、色々な方に繰り返し訪れていただけたらいいなと思います。



「私が登った栃木の山の魅力」

女優 小林 綾子

母が登山をとっても好きで、私が赤ちゃんの頃はおんぶ紐で私をおぶってまで山に登っておりました。私は、素人の初心者の山なのですが、山に行くのが大好きで、山に行くとリフレッシュ出来るので、ドラマとかお芝居をしながらも、時間をみつけて登山をずっと楽しんでおりました。

父が栃木県宇都宮の出身でして、子どもの頃にとちぎの山は眺めてはいたものの登ったことはなかったので、5日前に茶臼岳に登ってまいりました。

山の下の方は色々な花が咲いていたのですが、少し登ると火山の山で、まったく表情が変わって驚きました。

無限地獄では火山の様子を間近に眺めることができ、硫黄のにおいもすごいですし、手でちょっと触ってみると温かく、音はゴーゴー言っていて、五感で楽しむと言うのはこういうことだなと、山はやっぱりこうやって楽しむものなのだ、強く感じました。

6月は初夏の高原山に登りました。登りの最初の頃は本当気持ちの良い新緑が続いていて、愛子様のお印のヤシオツツジが咲いていたり、ホトトギスやツツドリ、エゾハルゼミが鳴いていて、さらに登ると急に関東平野が広がり、こんなに広い関東平野を一望出来る場所に登ったことがなかったので非常にビックリしました。

下山の際は、筑波山が見えていて、その手前のところに蛇行しながら鬼怒川が見えて、高原山が関東平野を潤す水源だという様子を眺めて参りました。

そして、下山してから全国名水100選にも選ばれた尚仁沢湧水地に立ち寄りしました。すごい原生林で、ツタの絡まり方とか、ダイナミックで非常に素敵なところでした。

今回は那須の登山を楽しんで参りましたが、山には色々な表情があって、実際に行ってみないとわからないなと、少しでも多くの方に山を楽しんで頂きたいと思いましたし、私も季節を変えて四季折々を楽しみながらまた訪れたいと思います。



「企業の植林活動や水と山の深いつながりについてなど」

サントリーホールディングス株式会社
CSR推進部チーフスペシャリスト 山田 健

サントリーは良質な地下水に頼っている会社でして、その生命線の地下水の持続可能性を守るため「天然水の森」という水源涵養活動を行っており、全国で20カ所の工場の水源涵養エリアで約9千ヘクタールを整備しております。

また、どうすれば森が良くなって地下水のために良いのか調査研究も行っております。

森はよく「緑のダム」と言われていますけれども、森があり、草が生えて、そこにミミズなどがたくさんいて、ふかふかな森の土が出来上がります。このふかふかな土が1メートルあると500ミリの雨が降っても土の中に染みこまれます。

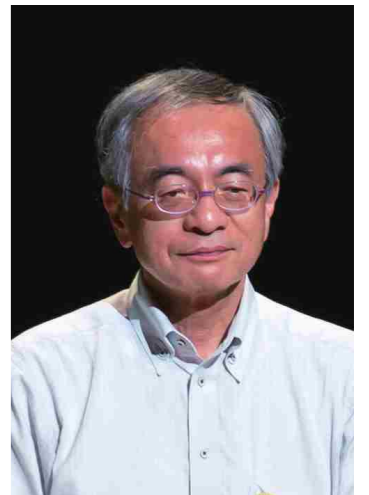
また、このように微生物に富んでいる土壌は、生物学的な浄化機能が強く、染みこんだ水はさらに沈んで岩盤の中に流れ、その中のミネラルが溶け出しておいしい地下水になります。

私たちはその深い場所にあり、雨が降ってから20年ほど経っている水を製品に使っています。

地下水涵養の鍵は健全な森林土壌を守ることです。健全な森林土壌は、森の木とか草、鳥、哺乳類、ミミズなど色々な生き物達、それから目に見えない微生物達が協同して作り上げるものでして、これは貴重な宝物のようなものです。その宝を育てるために森の生き物の多様性を取り戻すというのが、我々の仕事の一番のねらいになります。

森を守る私たちの活動としては、植生をはじめ土壌や地盤の調査により全体像を把握した後、整備が遅れている人工林の間伐作業を行い健全な生産林に誘導しています。

また、間伐材を育林材という名前を付けて色々な利用の可能性を探ることや、植樹や崩壊地の土留めなどを行うことにより健全な状態の森を育てております。



「山の日への思い、地域に根付いた
山を守る活動の大切さ、山と安全など」
登山家 野口 健

私は、冒険家植村直己さんの「青春を山にかけて」という本を高校生の時に読み、植村さんがコンプレックスを持ちながらも、コツコツと山に登り、その結果が大きな冒険につながって行ったという内容でしたので、こんな僕も何かコツコツ積み重ねれば、何か出来るかもと思い、それがきっかけで山の世界に入り色々な山を登って来ました。

山の環境問題について、当初はまったく関心がなかったのですが、富士山が世界でもっとも汚い山と言われていることを知り、97年にはじめて富士山に登った時、5合目から上が当時は空き缶、弁当箱などのゴミが多く、富士山の病んでいる面を見ました。

富士山は日本のシンボルなので、ここのゴミ拾いを徹底的にやっっていけば、日本中に広がっていき、富士山から日本が変わればいいなあ、などと思いながら清掃活動を始めました。

清掃活動を始めて17年が経ち、毎年平均7千人前後の人が日本中から来てくれて、調査中ですけれども、今年中に富士山の山梨県側に関してはゴミゼロ宣言を出せるような状況になりました。来年からは、反対側の静岡の清掃活動についてこれからも続けて行きたいと思います。

山の日は、山をみんなで楽しもうということや山をどのように守っていくか、という趣旨ですが、次の世代、特に多くの若い人に登山してもらうようになることが課題だと思います。

今、エベレストなどを登山する日本の若い人は少なくなっているため、若い人がヒマラヤや日本の山も含めて、山で冒険できるような環境を作っていきたいと思っています。今年は那須で不幸にも雪崩事故がありましたけれども、これを受けて自粛するというよりも、ひとつの大きな、大きな、教訓にしながら、どう次につなげて行くのか考えることが私たち山の関係者の大きな役割だと思います。



総括コーディネーター

山と溪谷社「ROCK&SNOW」編集長

萩原 浩司

山の日意義「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。」という中で国民に対して、何らかの行動を促す「山に親しむ機会を得て」という部分について私は非常に高く評価をしています。

山に親しむという機会には色々なパターンがあります。山に登ること、このようなシンポジウムの中で今まで知らなかった山の世界を知ること、絵画展や写真展などを見て山を思うこと、自分達の生活と密接に結びつく水が、どこから流れ、どのように形成され、豊かな恵みがどのような形でやってくるのか、そのようなこと考えることが山の日意義の一番だと思います。

実は、女性で初めてエベレストに登った田部井淳子さんが初めて登った山は那須の山々でした。那須の山に接し、この荒々しい世界を初めて見て、日本にはこんな景色があったのだ、もっと色々な世界を見てみたいという好奇心を刺激されたそうです。山はこのように人生を変えてしまうこともありますし、ひとつの山に対する思い入れから環境保全活動に足を踏み入れたりする人もいます。



山の魅力をどのように次の世代に伝えていくか

小林 千穂

昨日、茶臼岳に登っていた時、子どもが母親に「この山って噴火で出来たんだよね」と語りかけていました。多くの子どもが登山を通じて自然の成り立ちなどについて興味を持ってもらい、自然の豊かさやなどを感じてもらえたらと思っています。

私は山岳ライターなので雑誌やテレビなどで自分の体験を通じて山の魅力を広く伝えて行きたいと思っています。

小林 綾子

私も子どもたちにも山に行って楽しんでもらうことが、とても大事だと思います。自然の中に入ると、心が浄化され、そして目がキラキラ輝いてきます。子どもは純粋ですから、本当に自然の中の楽しさに体がいっぱい触れて、元気になりますし、本当に心が豊かになる、という風に思っています。

皆さんには、是非、お子さん連れてどンドン身近な山に登っていただきたいと思います。そして、山のことをいっぱい知って、楽しんで、そして次の世代につなげていてもらいたいと思います。私もそれに協力して行きたいと思っています。

山田 健

実際に山を整備していて、一番思うことは、林業家の皆さんが本当に窮迫しているということです。経済的にもしんどいと思いますし、若手もなかなか入ってこない。そういう中で、私たちが今一番簡単に出来ることは、国産の木を使うことだと思います。例えば、赤ちゃんのおもちゃとか、歯固めとか、あるいは、お茶碗とかそういうものも、日本の木を使うという文化をもう少し大事にすることが、山にお金を還元させて、ひいては山をもっと健全に維持することにつながると思いますので、直接山に行けない人も、そのような応援の仕方もあるので是非よろしく願いいたします。

野口 健

やはり子どもが山に行くきっかけづくりが大切だと思います。私は学校登山が減ったことが残念ですね。学校の先生方に聞くと、子どもが怪我をすると親が色々と言うし、学校側もリスクがあるので、だいぶ減ったようです。

一方、学校登山が山嫌いの子供を大量に作っていたようで、引率の先生方も学校のプログラムでやらなきゃいけないから、仕方なく行くといった雰囲気があるようです。

そこで例えば、学校登山の中に地元の山岳ガイドや生態系の専門家などを入れて、自然との色々な接し方を説明していくとクオリティーが高まり、学校登山をきっかけとして自然と接するが好きな子どもが増えれば良いと思います。

本当は親が連れていくのが一番良いのですが、例えばニュージーランドで小中学校の義務教育の中にアウトドア教育が入っているように、学校教育の中でクオリティーの高いアウトドア教育を入れていくことが大切だと思います。

4. 歓迎フェスティバル (8月11日)

【1】概要

来場いただく皆様に、「那須」はもとより「とちぎ」のいいものを五感で感じ堪能していただくとともに、食の提供や健康づくり体験を通じて、改めて山の恵みに対する感謝の気持ちを想起させる契機とするため、歓迎フェスティバルを開催しました。

- 開催日時 平成29年8月11日(金)午前11時から午後6時30分まで
- 会場 那須町余笹川ふれあい公園
- 来場者数 約8,000名



アルパカふれあいコーナー



チェーンソーアート



ツリークライミング



栃木県産牛乳の試飲



2人曳き鋸による丸太切り



桧ボールプール



グルメブース



魚のつかみ取り



障害者スポーツ体験



木工工作



手打ちそば



降雨体験車

【2】会場図



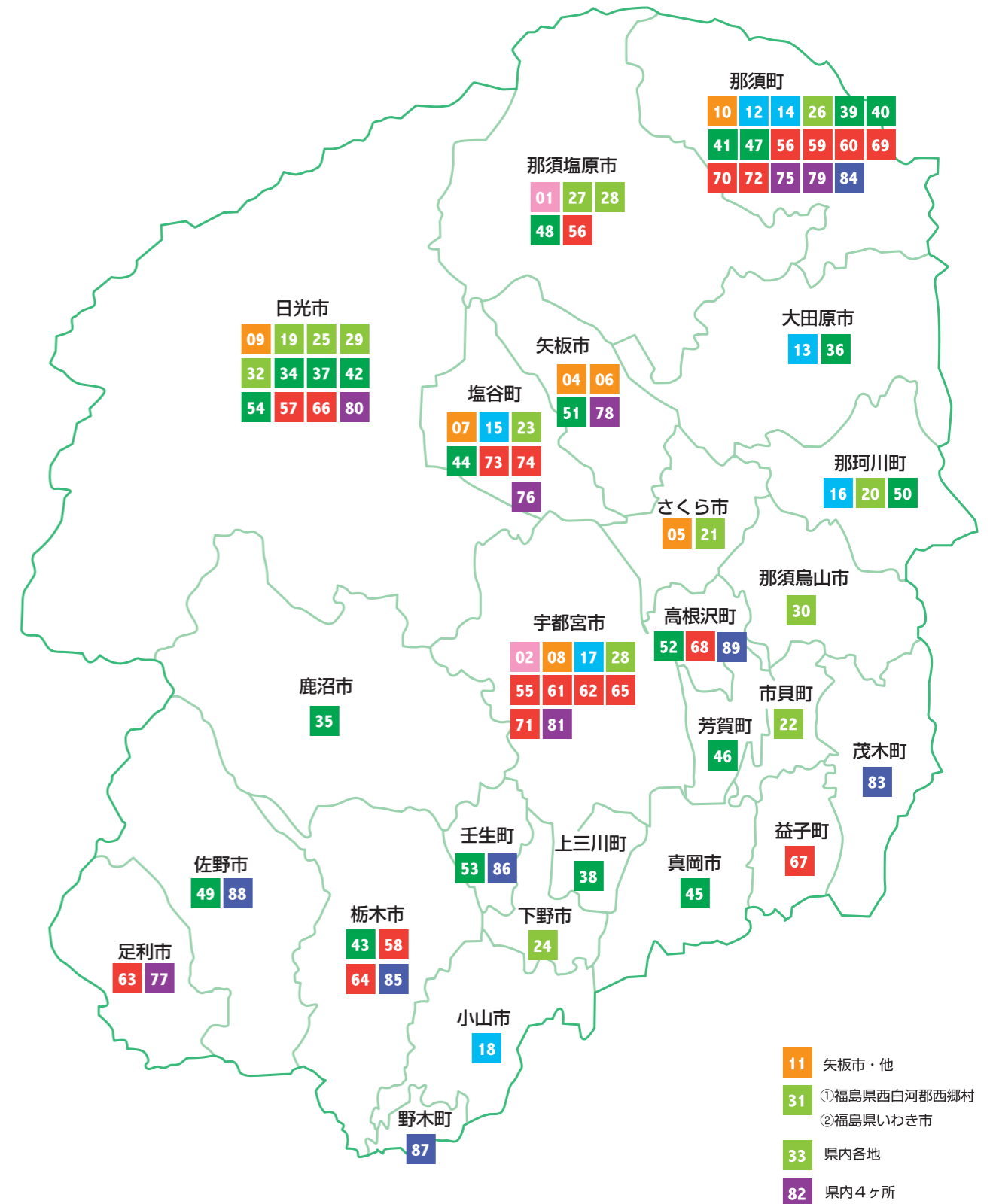
出展者一覧

メニュー	1 立岩屋	日光天然氷のかき氷、からあげ、さん唐揚げ	メニュー	29 30 (一財)ガールスカウト栃木県連盟	ネイチャーゲーム、クラフト(素材を生かした物)、山をイメージしたオブジェ作成ほか
	2 井当のあきない	かき氷、ベーコンソーセージ焼き、鶏皮焼、焼きそばの販売		31 (一社)那須町観光協会	観光ガイドブック配布、ポスター掲示
	3 那須高原ビール株式会社	那須高原ビール、ヴァイツェン、イングリッシュエール、スコティッシュエール販売		32 (公社)とちぎ環境・みどり推進機構	緑化の普及・啓発
	4 那須の食 なすとらん	那須和牛 牛丼の販売		33 筑波大学山岳科学センター・山岳科学センター	筑波大学山岳科学学位プログラム及び山岳科学センターの紹介
	5 FINE dining café	ハラミ牛串焼き、那須三元豚串焼き、生ビール、ペットボトルドリンク		34 環境省 関東地方環境事務所	国立公園、クラフト(素材を生かした物)、山々の見所を紹介
	6 (有)レストラン大原	カツサンド、ローストビーフ、生ビール		35 [本物の出会い栃木] デスティネーションキャンペーン	子ども服試着体験
	7 那須未来(株)	那須ブランド認定品 キングハム、ハム盛り合わせ、串アランチ、黒田原さようざ		36 栃木県健康増進課	とちぎ健康づくりロードのPR、栄養・食生活の普及啓発、健康づくり啓発資料の配布
	8 マウントジーンズ那須	牛串、ベーコン串、オムそば		37 関東地方知事会	関東地方各都県文化PRパンフレット等配布
	9 (有)むらさき	ハム・ソーセージ・ベーコン焼き、ローストビーフ焼き、フライドチキン、ハッシュドポテト、ホットドック、きゅうり本漬、漬物、土産品		38 キリンビール株式会社 栃木支社	ノンアルコールビールの無料サンプリング
	10 ハルチョンラーメン はるっ子	与一焼きそば、とうがらし焼きそば、鶏モモ唐揚げ、大田原名物 さんた唐揚げ、大田原名物 白美人ネギたっぷり揚げたこ焼き		39 40 林野庁 関東森林管理局 塩那森林管理署	2人曳き鋸による丸太切り、小径木の丸太切りスタンプ押し、パネル「森の産物」、竹灯籠ほか展示
11 キング	牛串、豚串、肉巻きおにぎり串、牛タンつくね串、かき氷の販売	51 産農とちぎ農業協同組合 那須地域酪農組合	栃木県産牛乳の試飲		
12 ばそき家	焼きそば、フランクフルト、ペットボトルドリンク	41 42 栃木県木材業協同組合連合会	林業関連ブースPR		
13 那須町農村生活研究グループ協議会	しそジュース、夏野菜スープの販売	43 (株)山光	木製品販売		
14 なかむらや志水	那須ブランド認定商品「だっばら」など和菓子の販売	44 Octopa	小物販売、かき氷販売		
15 那須地方夏秋どりいちご生産協議会	いちご販売	45 えがおをつなぐとちぎ育の会	木育活動、おもちゃ積木販売		
16 那須珈琲Café La Détente	珈琲、ハーブティー、かき氷、珈琲豆	46 とちぎの木を活かす女子の会～木輪～	木輪の活動紹介、木製品販売		
50 そばの里伊王野愛好会	手打ちそば	47 星野工業(株)	木製おもちゃ、台所用品、とちぎくんグッズ販売		
17 栃木県立日光自然博物館	熊鈴、手ぬぐい、書籍、クリアファイル、クッキーの販売	48 アコースティック珈琲舎(株)大和木材	コーヒー販売		
18 栃木県立那須高等学校	馬頭高校の魚露、佐野松桜高校のソース、那須清峰高校のストラップ、那須高校の那須カルタ	49 無垢塗工房(株)イケダ	木製品販売、木工工作		
19 栃木県特用林産協会	菌床生しいたけ、乾しいたけ、焼いも、生わかび、葉わかび、きのこ加工品、まいたけ	国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所・栃木県砂防資源課	降雨体験車、防災設備展示		
20 りんど湖LAKE VIEW	グッズ、お土産販売	2 チェーンソーアート(栃木県林業まつり実行委員会・フォレストワークスクラブ@とちぎ)	チェーンソーアート販売・実演、木端お絵かき、手作り太鼓・竹 TENT 展示		
21 公益社団法人栃木県観光物産協会	栃木県特産品(和菓子、洋菓子、惣菜、グッズ)の販売	第77回国民体育大会栃木県準備委員会 第22回全国障害者スポーツ大会 栃木県準備委員会(障害者スポーツ体験)	国体・全スガ関連ポスター掲示・資料配付、障害者スポーツ体験		
22 とちぎセルフセンター	シフォンケーキ、カップケーキ、パン、菓子、野菜、焼酎、プリントグッズの販売	3 ツリークライミング(那須高原ビジターセンター)	ツリークライミング		
23 株式会社モンベル	アウトドアグッズ販売	4 稚魚放流(余笹川流域連携ネットワーク)	稚魚放流		
24 大塚製薬(株)大宮支店宇都宮出張所	ポカリスエット提供	5 魚のつかみ取り(余笹川流域連携ネットワーク)	魚のつかみ取り		
25 栃木県立学館高等学校 JRC部	救急法の実演、心肺蘇生の講習、防災教育活動の紹介	7 キックバイク、スポーツバイク体験(那須プレーゼン)	キックバイク、スポーツバイク体験		
26 ミナト製菓(株)	スポーツ用麦茶の試飲、販売	8 アルパカふれあいコーナー(那須アルパカ牧場)	アルパカとのふれあい		
27 28 セビオ株式会社	アウトドアグッズ販売	9 カヌー体験(余笹川流域連携ネットワーク)	カヌー体験		

5.連携イベント

【1】連携イベント実施マップ

- 4月実施イベント
- 5月実施イベント
- 6月実施イベント
- 7月実施イベント
- 8月実施イベント
- 9月実施イベント
- 10月実施イベント
- 11月実施イベント



【3】ステージプログラム

那須町黒田原の Mascotキャラクター『クロロとゆめな』の総合司会により、トークショーやファッションショーなど様々なステージプログラムが行われ、多くの観光客や地元の方々に賑わいました。

11:30	開会 11:30～
12:00	オープニングステージ 栃木県警察音楽隊 11:35～
12:30	バードパフォーマンス 那須どうぶつ王国 12:20～
13:00	第2回「山の日」記念全国大会開催記念 「山の日」写真コンテスト表彰式 12:35～ 環境省関東地方環境事務所
13:30	野口健トークショー 13:20～ テーマ「山と共に ～人と自然がつながる社会へ～」
14:00	
14:30	那須野が原青少年少女合唱団 14:10～
15:00	
15:30	山の日ファッションショー 15:10～ 宇都宮短期大学附属高等学校 生活教養科
16:00	
16:30	「クロロとゆめな」 ミニライブ 16:00～
17:00	那須山岳救助隊トークショー 16:50～
17:30	
18:00	那須アルプホルンクラブステージ 17:40～
18:30	那須音頭保存会ステージ 18:30～
19:00	エンディング ～夜空へ風船飛ばし～ 18:55～



栃木県警察音楽隊



山の日ファッションショー



アルプホルン演奏



那須音頭



エンディング 夜空へ風船飛ばし